

## 令和3年度(2021年度) 第2回コミュニティ交通部会 議事録

### I 日時等

1. 日 時：令和3年(2021年)11月24日(水)午前10時～午前11時15分
2. 場 所：くまもと県民交流館パレア 9階会議室1

### II 主な内容

#### 1. 開会

#### 2. 部会長挨拶

#### 3. 議事

##### (1) 公共交通空白地域等における予約型乗合タクシーの制度見直しについて (事務局)

- ・資料1を用いて説明

##### (部会長)

- ・今回実施した利用者アンケートのなかでも、地域住民から様々な要望があるが、運行を担うタクシー事業者の乗務員不足という問題もあるなかで、まずはできることから始めていくということかと思う。
- ・事務局から制度の見直しの方向性についてまとめられているので、説明を踏まえ、皆様からご意見をいただきたい。

##### (委員)

- ・1ページ目の公共交通不便地域対応のコミュニティ交通についてお聞きしたい。「4. 運行の内容(現行)」のところで、運行事業者としてNPO法人と記載があるが、具体的にはどういうところか。

##### (事務局)

- ・現在、不便地域対応のコミュニティ交通は1路線あるが、運行はタクシー事業者が行っている。そのため、制度上は認められているものの、実際にNPO法人が運行を担っている路線はない。

##### (部会長)

- ・周知・広報のところで、ささえりあとの連携という説明もあったが、委員から何かご意見はないか。

##### (委員)

- ・移動に困っている高齢者の方は多くおられると思うので、まずはささえりあを通じてそういった方の意見を聞いていただけるのは良い取り組みだと思う。また、乗合タクシーの制度を知らない方もおられると思うので、一緒に協力してやっていければと思う。

(部会長)

- ・市役所のなかでも、福祉分野と公共交通分野が協力して取り組んでいくことが大切で、周知・広報に関しても例えばただチラシなどを配るだけではなく、ささえりあなど普段から関わりのあるところなどを通じて、利用機会をつくるなど、きっかけづくりをしていくことが効果的だと思う。

(部会長)

- ・タクシー事業者へのアンケート結果についても説明があり、事業者が抱えている課題などについても見えてきたところかと思うが、委員から何かご意見はないか。

(委員)

- ・タクシー業界はコロナ禍で大変厳しい状況にある。車両の稼働率が50%を切る状況が続いていて、乗務員の中には、コロナへの感染をおそれて辞める者や高齢のために辞める者もいる。そのため、乗務員不足が続いており、今後コロナが収束したときに、利用者のニーズに応えることができるのか大変危惧しているところである。
- ・タクシー業界の苦しい状況が今後も続くのであれば、各事業者が乗合タクシーの業務に対応することも厳しくなってくるのではないかと思っている。
- ・国の方では経済対策なども検討されているが、コロナの第6波が来た場合、業界が立ち行かなくなるのではないかと思う。

(部会長)

- ・コロナの影響でタクシーを使う機会も減っているなかで、業界としても大変厳しい状況にあると思うが、乗合タクシーも含め、こうしたサービスを支えていただく主体としてはやはりタクシー事業者であると思うので、行政とも協力しながら、事業を進めていただければと思う。

(委員)

- ・弓削乗合タクシーは、熊本市域内だけでなく、菊陽町のゆめタウン光の森のバス停までルートを延伸したことで、利用者が増加した。
- ・説明のなかで周知不足にも触れていたが、こちらに関しては、ぜひ積極的にやってもらいたいと思う。制度があるのに利用しないのはもったいないと思う。
- ・また、弓削乗合タクシーを運行するタクシー会社からは、乗合タクシーの運行を始めてからは、一般のタクシー利用も増えたように感じているとの声も聞いているので、参考にいただければと思う。

(部会長)

- ・成功事例のご紹介ということである。熊本市域内にとどまらず、近隣の市町村への接続することで利用者が増加したり、一般のタクシー利用が増えるなどの好影響も生んだということである。
- ・他に意見はないか。
- ・見直しの方向性としては、概ねまとまっていると思うので、事務局には今回の説明に沿って、見直しを進めて行って欲しいと思う。
- ・それでは、議事2「AI デマンドタクシーの実証実験について」に移りたいと思う。

(2) AI デマンドタクシーの実証実験について

(事務局)

- ・資料2を用いて説明

(部会長)

- ・実証実験が11月22日までということで、まずは利用状況等についての速報ということだった。本格的な分析はこれからということだが、委員の皆様から質問、ご意見等はあるか。

(委員)

- ・利用状況が右肩上がりということで、安堵している。ある程度情報が行きわたった結果であると思う。
- ・詳細な分析はこれからだと思うが、もし現時点でわかるのであれば教えて欲しい。まず、どういった方面への利用が多かったのかということ。次に、資料の中でタクシー事業者の声として、他人同士の乗車でトラブルにならないか不安とあるが、実際にそういった事案はあるのか。以上、2点についてお伺いしたい。

(事務局)

- ・まず1点目のどういった方面への利用が多かったかということについては、今後アンケート調査や利用状況の分析を行うなかでわかっていくところかと思う。健軍商店街で利用状況を聞いたところでは、やはり健軍商店街に来られる方の利用が多かったように感じている。商店街からどういった方面へ移動しているかについては、分析はまだだが、少なくとも中心地となっているのは、健軍商店街ではないかと思っている。
- ・2点目については、今回の実証実験のなかでは、トラブルなどは起こらなかったが、今後本格的に相乗りタクシーの制度が導入された際に、例えば飲み会の帰りに相乗りが発生した場合などにトラブルになる可能性があるのではないかという声があったため、資料に載せたもの。

(委員)

- ・昼間と夕方の利用が多いということだったので、今後コロナの収束とともに、飲み会の機会などが増えてくると、検討課題になってくるのかもしれないと思う。引き続きよろしくをお願いします。

(部会長)

- ・詳細は、今後の検証を待ちたいと思います。
- ・利用者の割合で男性が多いが、女性は相乗りに対する抵抗が少しあるのかもしれないと思う。
- ・この仕組みについては、もしかしたら議事1のいくつかの課題にも対応できるかもしれないと思うので、今後の本格的な検証を踏まえて、市の他の地区への導入なども含めて検討をしてもらえればと思う。
- ・それでは、議事3の「その他報告事項」①共同経営に関する状況報告 ②熊本地域

乗合バス事業共同経営計画〈第1版〉変更内容」に移りたいと思う。

(3)「その他報告事項①共同経営に関する状況報告 ②熊本地域乗合バス事業共同経営計画〈第1版〉変更内容」について

(共同経営推進室)

- ・資料3を用いて説明

(委員)

- ・令和2年度は、路線バス事業の経常収支が5社合計で約44億円の赤字という報告があった。
- ・以前は公共交通の利用者が多かったが、自家用車の利用が増えるとともに公共交通の利用が減ってきた。さらに、新型コロナの影響で公共交通の利用者がますます減少している状況にある。また、高齢者による交通事故が増えている状況を考えると、やはり公共交通をしっかりと守っていかなくてはいけないと思う。
- ・現在もすでに行っているが、移動する権利を保障するという意味で、公共交通を守るために公的資金を投入していく必要があると思う。これは、自治体だけでできることではないため、国の支援も必要であると思う。そうした支援を路線の維持や従事する者の労働環境を守ることに生かすことで、乗務員不足などの課題へも対応していくことが大切だと思う。

(部会長)

- ・高齢者に関わる痛ましい事故なども発生しており、公共交通が重要であると改めて認識しているところである。コロナの状況下にあっても、お互いに支えあいながら、公共交通を守っていくことが大切であると思う。

(委員)

- ・熊本大学附属小学校・中学校の通学時間帯の密対策を行っていただいたことは大変ありがたいことだと思う。ダイヤの平準化も大切なことだと思うが、利用者のニーズに合わせてダイヤを調整することも大切だと思う。今後も、実態の調査を続けながら対応をしていって欲しいと思う。

(部会長)

- ・個人的な意見を申し上げると、もっと機動的にどんどん改善を進めていてもらいたいと思うが、やはり独占禁止法特例法により、本部会のような会議体に諮る必要があるところである。こうした形で資料にしてもらうことでバス会社の取組が見えるのは良いことだと思う。

(委員)

- ・コミュニティ交通とは関係ないかもしれないが、菊陽町に半導体の工場ができると聞いている。旧57号線は、現在も交通量が多く、渋滞が日常的に発生している。工場ができることで、さらに渋滞が悪化するのではないかと心配しているが、工場への交通アクセスなど周辺の道路環境をどのように考えているのか。

(部会長)

- ・こちらの話は、県の方で検討いただいているところかと思うが、もし事務局の方でお答えできるのであればお願いしたい。

(事務局)

- ・今後、道路施策として、どのように渋滞緩和を考えていくかについては、これから具体的に検討していくことになるかと思う。ただ、大きな方向性としては、道路整備プログラムに基づき、交差点改良など、渋滞対策を進めている状況にある。
- ・公共交通と道路施策を一体的に進めていく必要があると考えているので、県と市で連携しながら進めていきたい。

(部会長)

- ・他に意見はないか。
- ・事務局は、委員からの意見を参考に、次回の部会に向けた準備を進めてもらいたい。
- ・それでは本日の議事を終了する。